

Global Aqua Innovation Center







信州大学の交流基盤

アクア・ネクサスカーボン-プラットフォーム (AXC-PF)

アクア・イノベーション拠点を中心に蓄積した研究成果・知識を社会に展開する、産官学民から構成する会 員制の基盤組織(2019年設立)。講演会・懇談会、H P・レター配信、PR活動の情報交換・交流を行 いながら調査・議論を行い、共同研究・協創の創出を目指したソリューション創造型研究の支援活動を行っ ています。

【概要】

アクア・ネクサスカーボン-プラットフォーム (Aqua Nexus Carbon Platform) : 略記はAxC-PF【アックスシー・プラットフォーム】

ナノカーボン等の材料科学や技術・開発手法を、水処理、食品産業、機械工業、 医薬品等の様々な分野に広く展開すべく、地域をはじめ国内外の企業および自 治体、個人(=産官学民)を共創・協創を進めながら、対話による潜在的な シーズ・ニーズ探索を通じて、新事業に向けたイノベーション創出の機会とします。 活動により、国民への正しい理解・信頼・支持、新たな視点の価値創出による研 究活動ステージへのビルドアップ(サイエンスとエンジニアリングの強化)、多様な 財源の創出、社会課題解決型の教育、社会実装への支援・育成、等を目的と しています。

現在の会員数は66機関。

年会費は、正会員:10万円、個人会員:6千円、賛助会員:無料。

■ 産(産業界・企業) (官公庁) 合計66機関 (教育・研究) ■ 民 (個人)

図1. 現在のAxC-PF会員数



図2. AxC-PFのロゴ

円は「水」、六角形は「カーボン」 の意味。ナノカーボン材を通じて 海水が淡水へ変化していく過程 をデフォルメ、変化の様子をグラ デーションで表現。



PFプレ懇談会 (意見交換) 2019年2月14日 信州大学工学部 SASTec 会議室 (長野市) 産学官民の参加 43機関、76名

PFキックオフ総会及び第一回懇談会 2019年8月23日 信州大学工学部 AICS-2F 会議室(長野市) 産学官民の35機関、80名の参加

計画等を承認 食品加工、機構材料、 浄水の関連PF企業 6社と予備実験スタート

規約、役員、



【役割と強み】

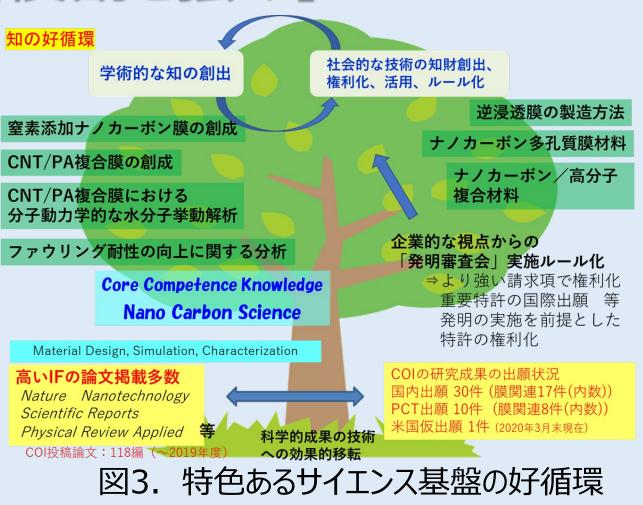


図4. 保有する強みのインキュベー ション施設、開発膜モジュール、大 学内製膜装置、模擬水評価機

強みであるサイエンス基盤、構築してきた保有設備・ネットワークを利活 用して、社会実装のビジネス基盤に繋ぎ、これらを強化するインキュベー ション基盤の役割をAxC-PFが担う



1. 運営・整備活動

野市)

26名

総会・委員会(企画)の実施、HP情報充実化、レター配信

2. 情報交流活動

講演会・懇談会(9回)、見学会、相談対応、個別意見交換 (今年度25件)、シンポジウム、アウトリーチ(展示会出展)等 での最新の研究紹介や情報交流

3. 会員機関との共同研究・共創活動(今年度)

〈寄付講座〉 1件

<開発分離膜等のフィージビリティ・スタディ(FS)>

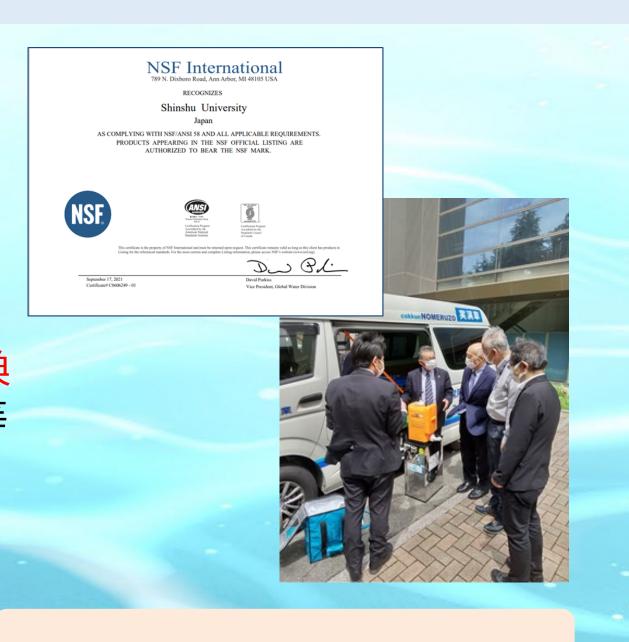
4件(カーボン関連1件、水処理関連3件:有償MTA含)

<共同研究> 11件(カーボン関連2件、水処理関連9件)

〈契約準備中〉 2機関(会員企業様)

〈外部資金〉 今年度:採択2件

ビジネスモデル検証支援(開発RO膜)



【AxC-PF委員】

・委員15名程度、民間企業から 4名、外部委員として役員参加

・産官学連携交流の基盤組織

信州大学工学部水環境・土 木工学科を2016年に改組し て大学として設置しており、PF 会員企業へのインターンシップ など、学生教育への好循環も 始まっています。

課題は、研究チームの認知、チ ームの持続的発展性、ビジネス モデルの確度、などを重点テー マに、テーマ推進支援とともに 地道な紹介活動、多様な財 源確保、ビジネスモデル検証を 現在実施中。

く会員募集中>

AxC-PFにご興味のある方は、 是非、入会して仲間になって頂け れば!お待ちしています!



AxC-PF入会ページはこちら!

【問合せ先】

アクア・ネクサスカーボンー プラットフォーム(AXC-PF)

Tel: 026-269-5773

E-mail: AxC_pf@shinshu-u.ac.jp

©2023 Global Aqua Innovation Center, Shinshu University